

2016年度 一般市民見学会 「明石海峡大橋とまもる技術の見学会」 開催報告

■明石海峡大橋

		
<p>▼はじめに明石海峡大橋の建設までの歴史、世界の吊橋との比較、経済効果などを勉強しました。</p>	<p>▼バスに乗り込み、淡路島へ移動開始。</p>	<p>▼淡路SAでトイレ休憩した後、明石海峡大橋へ向かいます。ちょっと風が強いですが、お天気は良好です。</p>
		
<p>▼明石海峡大橋4A橋台へ到着。</p>	<p>▼本四高速の方から、橋台の中で注意事項の説明です。海上300mの塔頂や高所にある桁の管理路では、物を落とすことができません。</p>	<p>▼ヘルメットを装着し、いざ出発です。安全第一です。</p>
		
<p>▼約40mの階段を登ると、目の前のシャッターが開きはじまりました。</p>	<p>▼明石海峡大橋の補剛桁がドーンと現れます。シャッターチャンスです。これから目の前の管理路を歩きはじめます。</p>	<p>▼右に大阪湾、左は播磨灘。海上にある明石海峡大橋からは神戸市街も一望できます。管理路は、4tトラックも通れる幅と強さがあるそうです。</p>
		
<p>▼でも、管理路はスカスカのグレーチングです。皆さん物を落とさないような対策をして歩いています。こんなところを1km歩きます。</p>	<p>▼管理路を歩き終わったら塔頂までエレベーターで昇ります。階段を少し登ったら、ここは海上300mです。</p>	<p>▼塔頂からの景色は、こんな感じです。風は少し冷たいですが、快晴！神戸の街や淡路島が良く見えます。</p>



▼次は、補剛桁の外面にあるU型の作業車へ乗り込みます。



▼この作業車を使って、明石海峡大橋の点検や塗装、補修などが行われるそうです。



▼明石海峡大橋の建設のビデオを見せていただきました。

■まもる技術



▼赤外線カメラを使って亀裂を見つける技術です。



▼目で見えにくい亀裂も、赤外線カメラではっきり写ってます。



▼本州四国連絡高速道路さん、ありがとうございました。



▼いろんなセンサーや赤外線カメラを搭載したドクターパトです。道路面や遮音壁などを走行しながら点検します。



▼難しそうな内容を、分かりやすく教えていただきました。



▼阪神高速道路さん、阪神高速技術さんありがとうございました。



▼iPhoneを使っているような計測をする技術です。



▼ケーブルの振動を計ってます。そこからケーブルにかかっている力がわかります。それ以外にも、異常な音を聞き分けるアプリが入っています。



▼ブリッジ・エンジニアリングさん、ありがとうございました。



▼超音波でコンクリートの中の鉄筋を調べる技術です。



▼建物の基礎部分を調べてみましょう。



▼中の鉄筋がくっきり、はっきり見えます。明石工業高等専門学校さん、ありがとうございました。